

## 平成 26 年度 情報通信月間推進協議会会長表彰

## ○ 志田林三郎賞

個人：1 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
すずき よういち 鈴木 陽一  東北大学 電気通信研究所 教授・情報シナジー機構長	多年にわたり、マルチモーダル感覚情報の処理過程の 解明及びデジタル信号処理を用いた立体音響技術の高 度化など、臨場感を持ったコミュニケーションの実現 に繋がる研究活動により、情報通信の発展に対して多 大な貢献をした。  (マルチモーダル感覚情報：聴覚、視覚、触覚、前庭 感覚等を複合した感覚情報)

## ○ 情報通信功績賞

個人：3 件

(敬称略・五十音順)

氏 名	功績の概要
こんどう のりこ 近藤 則子  老テク研究会 事務局長	高齢者や障害者の立場で ICT サービスを研究する老 テク研究会を創設し、全国で情報教育講座の開設支援 や相互交流を促進するとともに、情報通信審議会など の場において地域における高齢者や障害者の社会参加 の具体化に尽力するなど、情報通信の利活用の推進に 多大な貢献をした。
ひろおか じゅんじ 広岡 淳二  一般社団法人九州テレコム振興センター 専務理事	多年にわたり、九州地域における情報通信技術の開発 や産学官連携を推進する団体の運営及び施策形成に尽 力し、情報通信の普及啓発、人材育成及びアドバイザー 一業務に積極的に取り組むなど、情報通信技術の利活 用や地域情報化の推進に多大な貢献をした。
まいた つよし 米田 剛  特定非営利活動法人 地域情報化モデル研究会 代表理事	青森県五所川原市における地域 ICT 利活用モデル構 築事業において、観光クラウドシステムをプロジェク トリーダーとして構築し、奥津軽全体の観光振興に寄 与するとともに、地域情報化アドバイザーとして、そ の振興モデルを全国各地に普及展開するなど、地域情 報化の推進に多大な貢献をした。